

## 太田川圏域の理念、将来目指すべき姿、目標

(環境局水資源課)

### 1 理念、目指すべき健全な水循環の姿

静岡県水循環保全条例第3条「基本理念」を踏まえ、民間団体等や有識者の意見を参考にし、本計画の理念を定める。

#### 理念

**生活と豊かな自然が共存する太田川圏域を守る**  
～地域の貴重な水資源を将来世代に継承するために～

なお、関係団体へのアンケートでは、以下のような圏域を望む意見が多かった。

- ・人が安心して生活できるよう、治水対策を進めたり水源を守る一方で、豊かな自然が共存できるよう、バランスを保ちながら流域の環境を守っていく。
- ・地域の貴重な資源である河川や地下水を将来世代に継承するため、流域の行政・住民・団体・事業者等が一体となって維持・保全に取り組んでいる。

この理念を実現するために、3つの目指すべき健全な水循環の姿を設定する。

- ◆ 清らかで豊かな流れをはぐくむ自然環境の維持又は回復
- ◆ 水循環の恵みを受ける産業と暮らしの調和のとれた発展
- ◆ 水災害（水害・土砂災害・渇水）の被害軽減

太田川圏域は、清らかで豊かな流れを有している一方、水害や土砂災害にも度々見舞われ、また他方では、水源を他圏域にも依存しており、渇水のリスクが大きい地域でもある。こうした点から、圏域の様々な主体が一体となり、これらの目指すべき姿に向かって取組を行うことが重要である。

### 2 健全な水循環の維持又は回復に関する目標

健全な水循環の姿を目指し、さらには圏域の理念の実現に向けて、水質、水量、災害・治水、自然環境、暮らしの5つの分類に対して、健全な水循環の維持又は回復に関する目標を設定した。

水質	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共用水域の水質維持</li> <li>●地下水塩水化の状況監視</li> <li>●太田川ダム下流の河川環境改善に向けた対策</li> </ul>
	目標	○清らかな流れを保つため、良質な水質の維持・改善を図る
水量	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大井川水系、天竜川水系における取水制限時の適正な水利調整</li> <li>●地下水採取量、地下水位等の監視</li> <li>●上水道におけるバックアップ体制や応急給水態勢の整備</li> </ul>
	目標	○生活や産業に使用する水を安定的に供給する
災害・治水	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●流域治水の取組による水害等の被害の最小化</li> <li>●土砂災害危険箇所整備率向上</li> <li>●防潮堤整備の推進</li> <li>●サンドバイパスシステム等による侵食対策</li> </ul>
	目標	○被害軽減のため、流域治水による取組をあらゆる関係者が連携して推進する

自然環境	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●森林の公益的機能の維持・増進</li> <li>●河川空間、沿岸部等における生息環境の保全</li> </ul>
	目標	○豊かな流れをもたらし、災害を防止する森林や農地の機能を発揮する
暮らし	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業・農村の多面的機能を発揮する取組への持続的支援</li> <li>●河川愛護・美化活動における連携・協働</li> <li>●雨水・再生水利用の支援</li> </ul>
	目標	○水環境と生活・産業・自然のつながりを圏域全体で認識し、活動する

ここで、理念、目指すべき健全な水循環の姿、目標の関係を図示する。

